

# かなみおでかけサポートのしくみ (月～金運行/1台で運行中：2021年10月時点)

## 活動概要

高齢者等の居場所への参加を移動の面でサポートすることで、地域での自立した暮らしの継続を目的とした住民による会員制・有償の支えあい活動

## ボランティアの役割

運転ボラ：車両の運転担当  
同乗ボラ：

バックの際の安全確認  
利用会員の対応等  
(踏み台設置・荷物持ち等)

【共通】居場所での参加支援  
→謝礼200円/回は↑に対するもの

## 社協の役割

会員登録、運行調整 (送迎時間調整、ボラ活動シフト作成等)  
ボラ養成、フォローアップ研修  
ボラ連絡会の開催等

## 運営費

町総合事業による補助金  
共同募金配分金  
県社協助成金等を活用

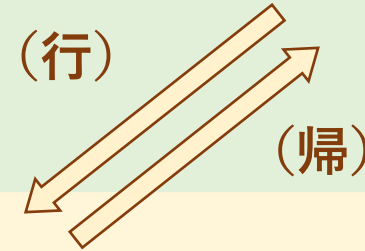
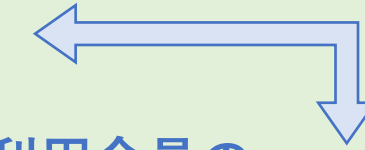
## ①社協職員との情報共有・点検や消毒後の出発 使用する車両:社協車両



必ず運転・同乗ボラ 2 名体制で運行  
(目的：安全に運行いただくため)

\* 町総合事業補助対象 (自宅⇄居場所)

## ②利用会員の乗車場所をまわる 移動に対する料金は無料



## ③居場所に参加!



各曜日ごと利用会員を居場所 (2ヶ所) へ送迎  
居場所では、体操をしたりお茶をのんだり…  
自分のしたいことを**選択**する



## 選択肢のひとつ 買い物に行こう!

毎日の食料雑貨の買い物にお困りの方向けに運行調整

希望者は居場所からスーパーへ  
お買い物後は、再度居場所へ戻り合流



# 移動のしくみを活用できない、多様な要因を抱えた人がいる



認知症の方



情報に触れていない



足腰が不安



主たる介護者のため  
時間に余裕がない



移動経費の負担感

おでかけを諦めがちの方… 外出へのハードルが上がる経験をされていることも多い

予定を忘れて  
相手を怒らせた

知らなかった  
ことで孤立した

他の人より  
動きが遅い

被介護者を残して  
外出するのは心配

必要最低限の  
外出でガマン

おでかけとネガティブな経験が結び付く… おでかけする気力の低下にもつながる

作ったはいいけれど…  
「予定を忘れる」  
「支度ができない」  
その方は利用  
できなくてもいい？



何故  
かなみおでかけサポートを  
作ったのか？  
→ 地域での自立した  
暮らしを継続するため

おでかけサポート・居場所  
それぞれの場面で、  
ポジティブな経験への  
サポートが必要だ！



# かなみおでかけサポートで続けている、小さな心遣いの一例



①社協職員との情報共有・点検や消毒後の出発

の、前に

## 認知症の方へ、 毎回の電話連絡

- ・外出予定のお知らせ
- ・支度の促し

## ポジティブな経験の例

- ・外出に向けて余裕をもって支度ができる
- ・「待たせてごめんなさい」という気持ちを持たずに済む
- ・1週間の生活リズムが整う



②利用会員の乗車場所をまわる

その時に

## 外出時に手荷物・ 服装の様子を さりげなく確認

- ・「カギがない！」等不穏になられた際にお声かけ

- ・不安な気持ちを持たずに済む
- ・ご本人が安心して外出できることで、送り出すご家族も余裕が生まれる



その時に

## 買い物希望の方に、 店舗での つかず離れずフォロー

- ・商品の場所のお知らせ
- ・時間管理など

- ・つかず離れず、必要に応じたフォローに徹することで、自由な買い物時間を楽しむことができる
- ・声掛けすることで時間を守れるため、他の方にも気兼ねせずに済む

# 居場所へおでかけした・続けたことで起きた、気持ちの変化



## Aさん（女性）

難聴で補聴器を付けています。

今までは、人の中に入るのが億劫になっていたけれど、同じように補聴器の話をする相手も出来て良かった！

## Bさん（男性）

以前は、介護保険の認定を受けヘルパーやデイサービスを利用していました。おでかけサポートでは、自分で毎週買い物に行くことができるので楽しみです。

昔少し触ったギターを居場所で弾いてみたり、家にいたらできないことができました。



## Cさん（女性）

夫がおでかけサポートに参加しています。認知症の診断、要支援認定を受けていますが身体介護が必要なく、デイサービスでは合わない気がして居場所への参加を相談しました。

毎回帰宅すると「良い疲れがある」と本人も話しており、夜良く寝られるようになりました。

夫を自宅に一人にしては外出できずにいた私ですが、自分の時間も大事にしていきたいです。

